

令和5年度第2回小金井市図書館協議会 次第

日時 令和5年9月15日（金）午後2時から
場所 図書館本館地階集会室

1 議題

(1) 図書館協議会の会議録の承認について

(2) 緑センター委託に向けた進捗状況について

(3) 小金井市立図書館基本計画 図書館評価（案）について

(4) その他

2 配布資料

資料1	令和4年度第6回小金井市図書館協議会会議録・令和5年度第1回小金井市図書館協議会会議録
資料2	小金井市立図書館基本計画 図書館評価（案）
資料3	小金井市の図書館

小金井市立図書館基本計画 図書館評価（案）

（評価対象：令和4年度）

令和5年9月15日
小金井市立図書館

評価の体系

「小金井市立図書館基本計画」の体系は目指す図書館像に向けて、「目指す図書館像→各基本方針→施策→事業」と事業がつながる構成となっています。

これを評価につなげるために、「事業（手法）の結果」の積み上げにより、市民や地域等に変化（施策の成果）について、期待される状態を例示し、どの程度近づいたかを分析し評価を行います。

評価方法

計画期間のうち、1～4年目は、基本方針ごとに事業の実施結果（事業の詳細実績は「小金井の図書館」（評価年度版）をご覧ください）と数値による指標を整理し、施策ごとに成果を分析します。

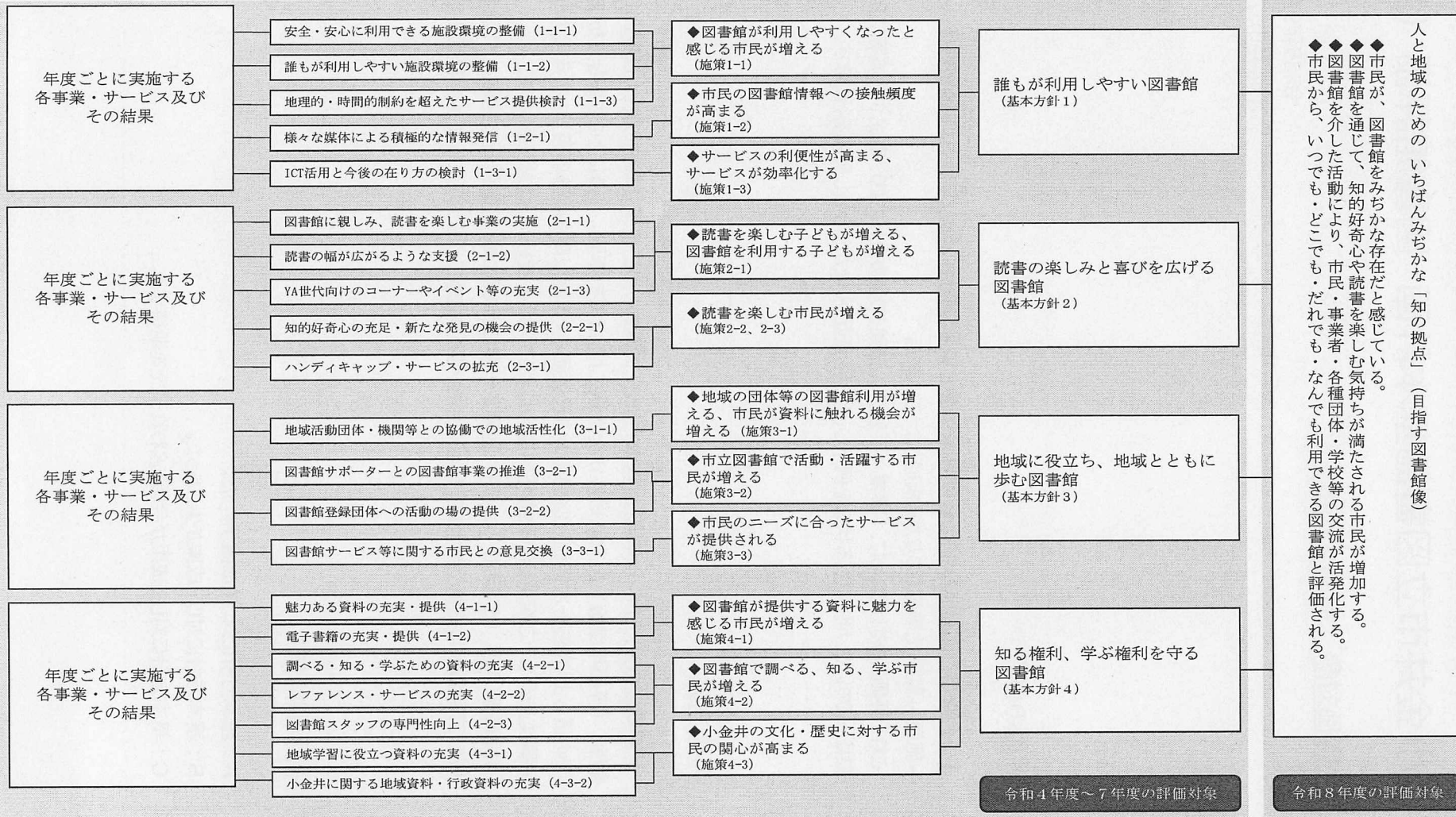
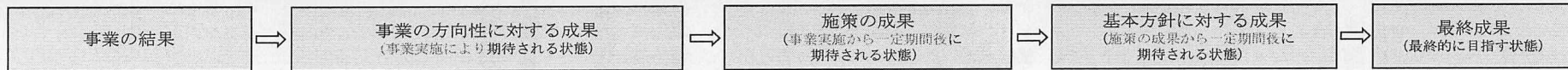
その積み上げから一次評価（図書館の自己評価・次年度以降の改善項目）と次年度の「重点取組予定事業」を示し、二次評価（図書館協議会によるコメント）を行うことを繰り返します。

計画最終年度（5年目）は次期計画策定年度に当たるため、基礎調査を実施し、計画全体の事業の実施結果・数値の指標と合わせて、計画の目指す図書館像にどれだけ近づいたかを評価し、次期計画の基

総評の視点

- A：基本方針に対して成果があった。
- B：基本方針に対して成果が少しあった。
- C：基本方針に対して成果が今後あらわれることを期待する。

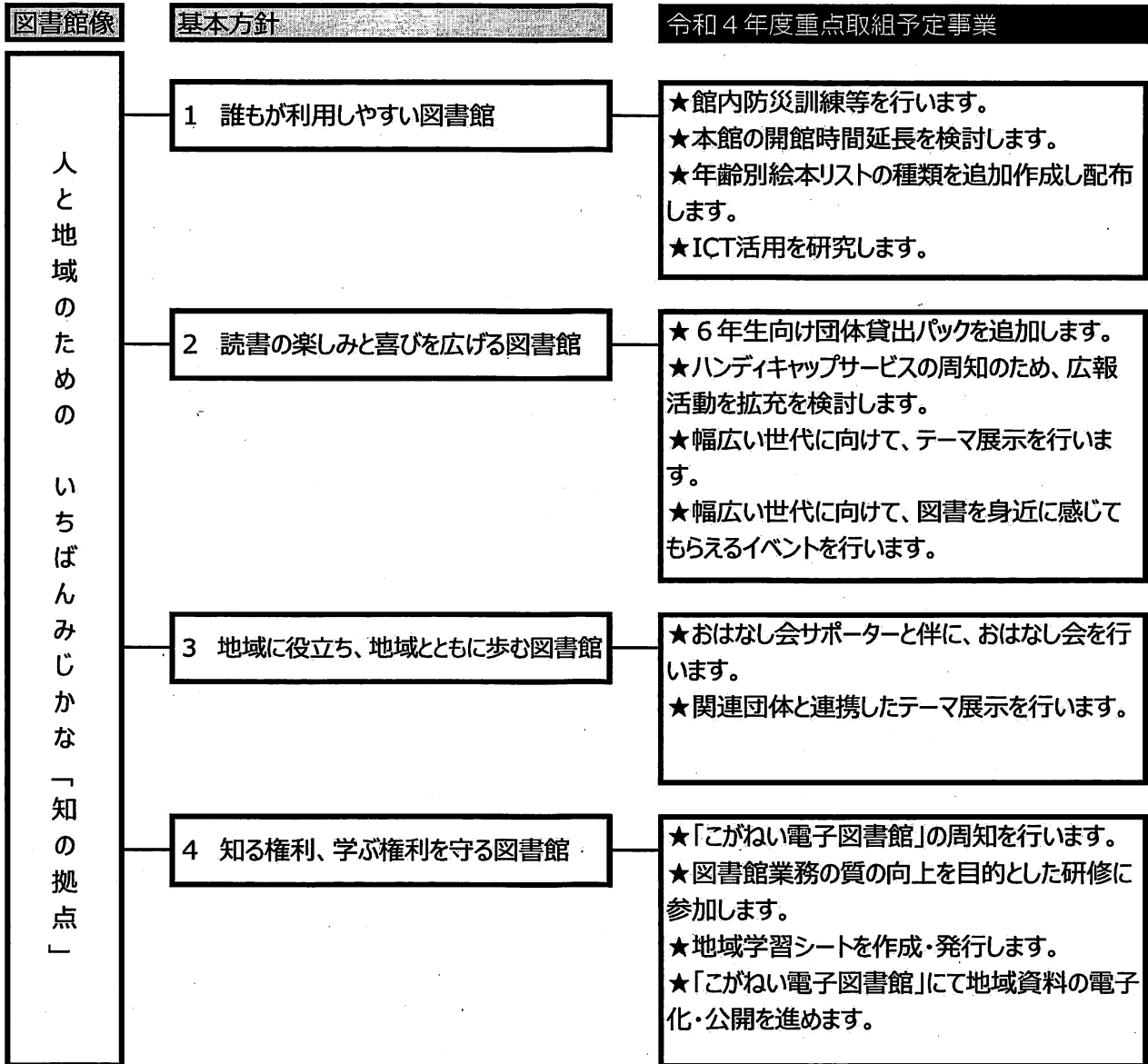
小金井市立図書館基本計画の評価の体系図



令和4年度～7年度の評価対象

令和8年度の評価対象

評価年度重点取組予定事業



基本方針 1

誰もが利用しやすい図書館

図書館は、誰もが安心して施設を利用できるよう、図書館サービスを身近に感じられるよう、環境の整備を行います。また、図書館サービスが広く市民に認知されるよう、広報を行います。

凡例 「本」=本館 「東」=東分室 「緑」=緑分室 「北」=貫井北分室 「西」=西之台会館図書室口

事業の結果		
施策	事業の方向性	令和4年度の事業の結果 (★印: ###)
1-1	安全・安心に利用できる施設環境の整備 (1-1-1)	★委託館も含めて館内防災訓練等の実施 ○ブックポスト1台新規入替と塗装等修繕 ○業務用放送設備の入替 (本) ○エレベーター修繕 (本・別館含む)
	誰もが利用しやすい施設環境の整備 (1-1-2)	○照明設備のLED化検討 (本) ○新聞閲覧台の購入 (本) ○書架修繕 (東・緑)
	地理的・時間的制約を超えたサービス提供検討 (1-1-3)	★本館開館時間延長に向けた課題整理 (時間延長を想定した時差出勤の実施) ○緑分室委託に向けた課題の整理のため、サウンディング調査の実施 ○図書館見学 (立川市立柴崎図書館、小平市立中央図書館) ○一般利用者における宅配、郵送サービスの研究
1-2	様々な媒体による積極的な情報発信 (1-2-1)	★未就学児向け読み聞かせ絵本リスト (500部) を作成して配布 ○小金井観光まちおこし協会に協力を依頼し「図書館基本計画 (概要版)」を武蔵小金井駅及び東小金井駅構内のチラシスタンドに配架 ○各館のイベント周知及びテーマ本点字について、図書館HPとTwitterで広報 ○「図書館だより」発行 (本・緑6回) ○「Y A 世代向け広報誌発行 (北4回)
1-3	ICT活用と今後の在り方の検討 (1-3-1)	★ICT活用研究の一環として、Wi-Fi設備等設置の検討 ○オンラインおはなし会 (緑) の実施 (12回、138人参加) ○オンラインイベント (北) の実施 (「ぬくきたーブル1回6人」「恋活読書会5回30人」「死生観を語り合うひととき2回21人」) ○イベント等の申込みでLogoフォームの活用 (本)

施策の成果

施策	施策の目指す状態	施策の成果 (事業の結果の分析)
1-1	◆図書館が利用しやすくなったと感じる市民が増える	★本館開館時間延長に向け、時差出勤形態を検討・試行を実施したため、課題の整理が進んだ。 ★消防職員の立ち合いのもと、防災訓練を実施したのでより実践的な訓練を行ったため、職員の方の防災意識が高まった。 ○サウンディング調査を行い、市民協働・公民連携の推進にむけた委託に関する課題の整理が進んだ。 ○電子図書館の利用者数は微増となっており、好きな時、好きな場所で読書を楽しむ利用者は着実に増えている。
1-2	◆市民の図書館情報への接触頻度が高まる	○図書館だよりやTwitter等で図書館から積極的に情報を発信したため、図書館の活動を知ってもらうことができた。 ★作成した絵本リストは全館で配布する以外に、健康課に協力を依頼し「母と子の保健バック」内にも封入したため、絵本リストを見ながら絵本を選ぶ利用者が増えた。
1-3	◆サービスの利便性が高まる、サービスが効率化する	○お楽しみ会や図書館講演会等のイベント受付を、インターネットによる受付を一部で実施したことで、業務の効率化が図れた。 ○新型コロナウイルス感染症対策の一環で、オンラインでの講座を実施できたが、遠方の講師も登壇できることや参加者も開催場所までの移動が無い分、利便性が高まった一面もある。 ★Wi-Fi設備等設置に関しては、導入に向けた検討を行った。

基本方針に対する成果

基本方針1の参考指標	一次評価 (基本方針1に対する自己評価・次年度以降の改善事項)			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	傾向
○市民登録者数	33,993人	34,130人	33,493人	↘
○市民登録率 (市民登録者数÷1/1現在人口)	27.45%	27.39%	26.85%	↘
○来館者数 (貸出者数)	204,662人	251,765人	243,735人	→
○電子図書館利用者数 (貸出者数)	829人	1,237人	1,236人	→

★絵本リストは従来、図書館で配布していたため図書館利用者のみが利用していた。今回、関係課との調整により幅広く絵本リストを渡すことができた。これにより図書館を利用していない方にも図書館のアピールにつながった。そのため、対象年齢を分けながら「おすすめ本リスト」作成を継続していきたい。
○緑分室の委託にむけて、次年度も市民協働・公民連携の推進をはかり、サービス拡充につながるよう、引き続き準備を行いたい。
★本館の開館時間延長に向けて引き続き課題整理を行いたい。
○電子図書館の所蔵の充実により、地理的制約を受けずに資料を借りて読む環境が整ってきたが、導入から2年が経過し資料の更新時期となるので、再購入などの管理を整理したい。
★Wi-Fi設備等設置に関しては利用コンセプトや利用見込みの検討を行いたい。

凡例 参考指標の当該年度を前年、前々年の数値と比較し、上昇傾向「↑」、下降傾向「↓」、現状維持傾向「→」

二次評価 (図書館協議会によるコメント)	総評
	(A)

基本方針2 読書の楽しみと喜びを広げる図書館	読書を介して、人は、別の世界を覗いたり、疑似体験や新たな発見をしたり、生活に役立つ知識を得たり、誰かと読後感を共有したり、趣味や興味が広がったりと、その楽しみ方や醍醐味は無限大です。図書館では、あらゆる人が本に触れる喜びと読書の楽しみを体験できるように努めます。
----------------------------------	---

凡例 「本」=本館 「東」=東分室 「緑」=緑分室 「北」=貫井北分室 「西」=西之台会館図書室

事業の結果		
施策	事業の方向性	令和4年度の事業の結果（★印：##）
2-1	図書館に親しみ、読書を楽しむ事業の実施 (2-1-1)	★乳幼児おはなし会の実施（本6回59人、東4回55人） ★おはなし会（本45回501人、東6回38人、緑24回308人オンライン含む、北34回233人） ★乳幼児（0歳～5歳）向けイベントの実施（本3回22人、東1回14人、緑なし、北なし） ★子ども向けのイベントの実施（小学生以上及び家族向けイベントも含む）（本4回76人、東3回28人、緑2回31人、北5回92人） ★児童向けテーマ展示の実施（本34回、東20回、緑27回、北25回、西12回） ○学校訪問(市立小学校の新一年生対象) 9校、1,067人
	読書の幅が広がるような支援 (2-1-2)	★6年生向けの団体貸出パックの追加（6パック分） ○リサイクル図書配布コーナーの設置（本、東、緑、北） ○団体貸出（225団体、22,468冊） ○外国語の絵本及び児童書の購入（全館89冊） ○ハンディキャップのある子ども向けの図書の購入（全館10冊）
	YA世代向けのコーナーやイベント等の充実 (2-1-3)	★YA（中高生）向けイベントの実施（本なし、東なし、緑なし、北2回13人） ★YAサポーターとの交流・活動の実施（北5回16人） ★YA向けテーマ展示の実施（本8回、東3回、緑5回、北12回、西なし） ○YA世代向け広報誌の発行（北4回） ○職場体験等受入れ（中高生） ○理化学研究所・編集工学研究所共同プロジェクト「科学道100冊」に参加（東）
2-2	知的好奇心の充足・新たな発見の機会の提供 (2-2-1)	★一般向けテーマ展示の実施（本34回、東12回、緑26回、北35回、西12回） ★一般向けイベントの実施(大学生以上及び全年齢対象も含む)（本2回22人、東3回29人、緑2回38人、北38回338人） この内、オンラインイベントは（北）で実施（「ぬくきたリアル1回6人」「恋活読書会5回30人」 「死生観を語り合うひととき2回21人」「読書会主催者が集う読書会1回10人）
2-3	ハンディキャップ・サービスの拡充 (2-3-1)	★障害者週間のイベント（宮地楽器ホールにて開催）ハンディキャップサービスの周知と関連本の展示 ○点訳・音訳資料の作成（10点） ○対面朗読の提供（2回） ○デジ図書の貸出（36点） ○宅配サービス利用の貸出（85件350点）

施策の成果		
施策	施策の目指す状態	施策の成果（事業の結果の分析）
2-1	◆読書を楽しむ子どもが増える、図書館を利用する子どもが増える	○おはなし会の参加人数が、昨年より増えており、1日2回開催するなどして参加希望者全員におはなし会を楽しんでもらったため、多くの子ども達に読書の楽しみが伝わったと思われる。 ○図書館見学やまち探検の受け入れにより、子ども達に図書館のことを知ってもらい、親しんでもらう土壌を作ることができた。 ★学級文庫貸出は新しく6年生の団貸パックを追加して、全学年で同数のパックを用意できた。用意している団貸パック数以上にクラス数が多いため、予約方法の見直しが課題である。
2-2	◆読書を楽しむ市民が増える	★テーマ展示の回数も昨年より増えていることから、普段手に取らないジャンルの本を手に入る機会を増やすことができた。 ★一般向けイベントも昨年より増えたため、図書館を訪れる機会を増やした。複合施設にある図書館では、併設する公民館との協働事業も行うことができた。
2-3	◆読書を楽しむ市民が増える	○昨年度実施できなかった音訳講習会を実施することができた。 ○Twitterでの画像付き投稿において、ALT（代替テキスト）機能を活用することで自動読み上げ機能が活用できるため、視覚障害のある利用者にも配慮した情報発信を心掛けた。 ★障害者週間に合わせたイベント（宮地楽器ホールで開催）へ出張展示とハンディキャップサービスの周知を行ったため、アウトリーチによる周知を図ることができた。

基本方針に対する成果					
基本方針2の参考指標	令和4年度			傾向	一次評価（基本方針2に対する自己評価・次年度以降の改善事項）
	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
○個人総貸出点数	792,539点	993,051点	933,556点	→	★新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策としての行動制限緩和から、貸出点数の減少がみられる。引き続き、読書の楽しみや普段、手に取らない資料の出会いを増やすための講座やテーマ展示は継続していきたい。複合施設の場合は、併設する公民館との協働を進めたい。 ★学級文庫貸出用の団貸パックの予約方法は、ICT活用（施策1-3-1）と関連し、インターネット予約の環境を整備したい。 ★障害者週間など関連イベントへ、アウトリーチによる図書館サービスの周知を行うことは、一定の効果が見込めると思われるので、継続していきたい。
○児童書貸出点数	338,746点	445,971点	414,134点	→	
○電子書籍の貸出点数	4,291点	10,399点	10,525点	↗	
○ハンディキャップ・サービス貸出冊数	214点	412点	386点	→	

凡例 参考指標の当該年度を前年、前々年の数値と比較し、上昇傾向「↑」、下降傾向「↓」、現状維持傾向「→」

二次評価（図書館協議会によるコメント）	総評
	(A)

基本方針3

地域に役立ち、地域とともに歩む図書館

図書館は、市内で活躍する人・組織・団体等と協力・連携することで、地域と支えあひながら、地域に役立つ図書館を目指します。

凡例 「本」=本館 「東」=東分室 「緑」=緑分室 「北」=貫井北分室 「西」=西之台会館図書室

事業の結果		令和4年度の事業の結果 (★印: ##)
3-1	地域活動団体・機関との協働での地域活性化 (3-1-1)	★市役所関連各課との連携によるテーマ展示の実施 (本13回、東4回、緑18回、北4回、西1回) ★宮地楽器ホールとの連携によるテーマ展示の実施 (本2回、緑1回) ○障害者就労支援センター実習生受け入れ (緑) ○図書館相互利用協定の継続実施と小平市との相互利用協定の新規締結 ○保育施設等へリサイクル図書配布 (本1,285冊) ○図書館見学・まち探検受け入れ (本7回、東なし、緑3回、北2回) ○地域団体主催イベントへの講師提供 (北) (小金井文化協会、小金井こらぼ) ○メディアを活用した図書館の魅力発信 (北) (小金井市まちおこし観光協会、NHK) ○包括協定を結んでいる総合学院テクノスカレッジの学生に電子図書館専用利用番号を付与 ○障害者福祉センター通所者の配架作業受け入れ (緑)
3-2	図書館サポーターとの図書館事業の推進 (3-2-1)	★おはなし会サポーターによるおはなし会実施 (本4回、東6回、緑12回、北34回) ○音訳サークルによる館内アナウンス録音登録 ○点訳サポーターによる点字資料の作成 (3点) ○音訳サポーターによるデジタイズ図書の作成 (7点) ○音訳サポーターによる対面朗読会の実施 (2回)
	図書館登録団体への活動の場の提供 (3-2-2)	○図書館登録団体による本館集会所・別館利用 (163回) ★おはなし会サポーター養成講座の実施 (本1回10人、北1回37人)
3-3	図書館サービス等に関する市民との意見交換 (3-3-1)	○図書館座談会の一環でバックヤードツアーを実施 (本1回7人) ○おはなし会サポーターとの意見交換会の実施 (本1回) ○音訳、点訳サポーターとの意見交換会の実施 (本1回)

施策の成果		施策の成果 (事業の結果の分析)
3-1	◆地域の団体等の図書館利用が増える、市民が資料に触れる機会が増える	★交通安全週間、男女共同参画週間などに関連するテーマ展示を行い、週間の主旨を展示資料とともに周知を図ることができた。 ★宮地楽器ホールで実施するのイベントの日に、関連する資料のアウトリーチ展示を行ったため、イベント参加者から「図書館にも行ってみたい」との声を受けた。 ○大学図書館の利用者は昨年度に引き続き学外利用制限があったため、紹介状の発行のみの対応となった。 ○日頃のイベント等とおして、メディアからの取材を受けたり、地域団体との繋がりが構築されたため、地域団体主催のイベントに講師役の依頼を複数回受けた。
3-2	◆市立図書館で活動・活躍する市民が増える	○館内業務用放送機器入れ替に伴い、館内アナウンスの読み上げを音訳サークルに依頼し、録音・登録することができたため、放送が以前より聞きやすくなった。 ★おはなし会サポーター育成講座は「特別支援学校・学級での読書活動」という専門性の高いテーマで実施した。 ○公民館東分室と連携した「子ども司書養成講座」を受講した生徒に、来年度の「子ども読書週間」に展示する図書の選定をPOP作成することができた。
3-3	◆市民のニーズに合ったサービスが提供される	○図書館バックヤードツアーには、学生から一般の方と幅広い年齢層の参加となり、目に見えない図書館業務を伝え、質疑をおこなうことで自由な意見交換が行えた。 ○おはなし会サポーターと「おはなし会」や「養成講座」の演目等に関する意見交換を行い、ニーズの把握に努めた。 ○音訳、点訳サポーターと「ハンディキャップサービス」や「資料作成」に関する意見交換を行い、協力関係を深めた。

基本方針に対する成果				
基本方針3の参考指標	一次評価 (基本方針3に対する自己評価・次年度以降の改善事項)			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	傾向
○図書館おはなし会サポーター団体数	15団体	15団体	15団体	→
○図書館登録団体数	7団体	7団体	7団体	→
○図書館と連携事業(展示)を行った機関数	5団体	5団体	7団体	↗

凡例 参考指標の当該年度を前年、前々年の数値と比較し、上昇傾向「↗」、下降傾向「↘」、現状維持傾向「→」

二次評価 (図書館協議会によるコメント)	総評
	(A)

基本方針4 知る権利、学ぶ権利を守る図書館	図書館は、資料と情報を取り・整理・保存・提供することで、文化を後世に伝えるとともに、市民の調べる・知る・学ぶ機会を提供します。
--------------------------	---

凡例 「本」=本館 「東」=東分室 「緑」=緑分室 「北」=貫井北分室 「西」=西之台会館図書室

事業の結果		令和4年度の事業の結果（★印：###）
4-1	魅力ある資料の充実・提供 (4-1-1)	○図書館基本方針改訂版に内包されていた「選書基準」の独立化 ○資料の購入・受入れ (24,251点) ○相互貸借による資料提供の実施
	電子書籍の充実・提供 (4-1-2)	★「こがねい電子図書館」の周知のため、英語版・中国語版の作成 ○電子書籍資料の貸出 (10,525点) ○こがねい電子図書館へ生涯学習課文化財係の協力のもと、地域資料の電子化と解説文の作成 (5点)
4-2	調べる・知る・学ぶための資料の充実 (4-2-1)	○参考資料の受け入れ (全館168点) ○利用者用インターネット端末の提供 (本161回、北138回) ○一般書の書架差し込み表示の一部を新しく作成 (東)
	レファレンス・サービスの充実 (4-2-2)	○国立国会図書館デジタル化資料送信サービス、歴史的音源サービスの案内 ○図書館だけで参考資料紹介 (1回)
	図書館スタッフの専門性の向上 (4-2-3)	★図書館業務の質の向上を目的として主に都立図書館主催の研修に参加 ○生涯学習課文化財係との研修会の実施 ○総務課情報公開係との研修会実施 (会計年度任用職員及び一部委託館職員含む)
4-3	地域学習に役立つ資料の充実 (4-3-1)	★地域学習シート「小金井わくわくたんていだん」の発行 (1回)
	小金井に関する地域資料・行政資料の充実 (4-3-2)	★こがねい電子図書館へ生涯学習課文化財係の協力のもと、地域資料の電子化と解説文の作成 (5点) ○地域資料・行政資料の収集 ○市民文庫の充実 (北) ○定点撮影の実施 ○地域資料のテーマ展示5回 (北) ○小金井に関する新聞記事の収集、ファイリング

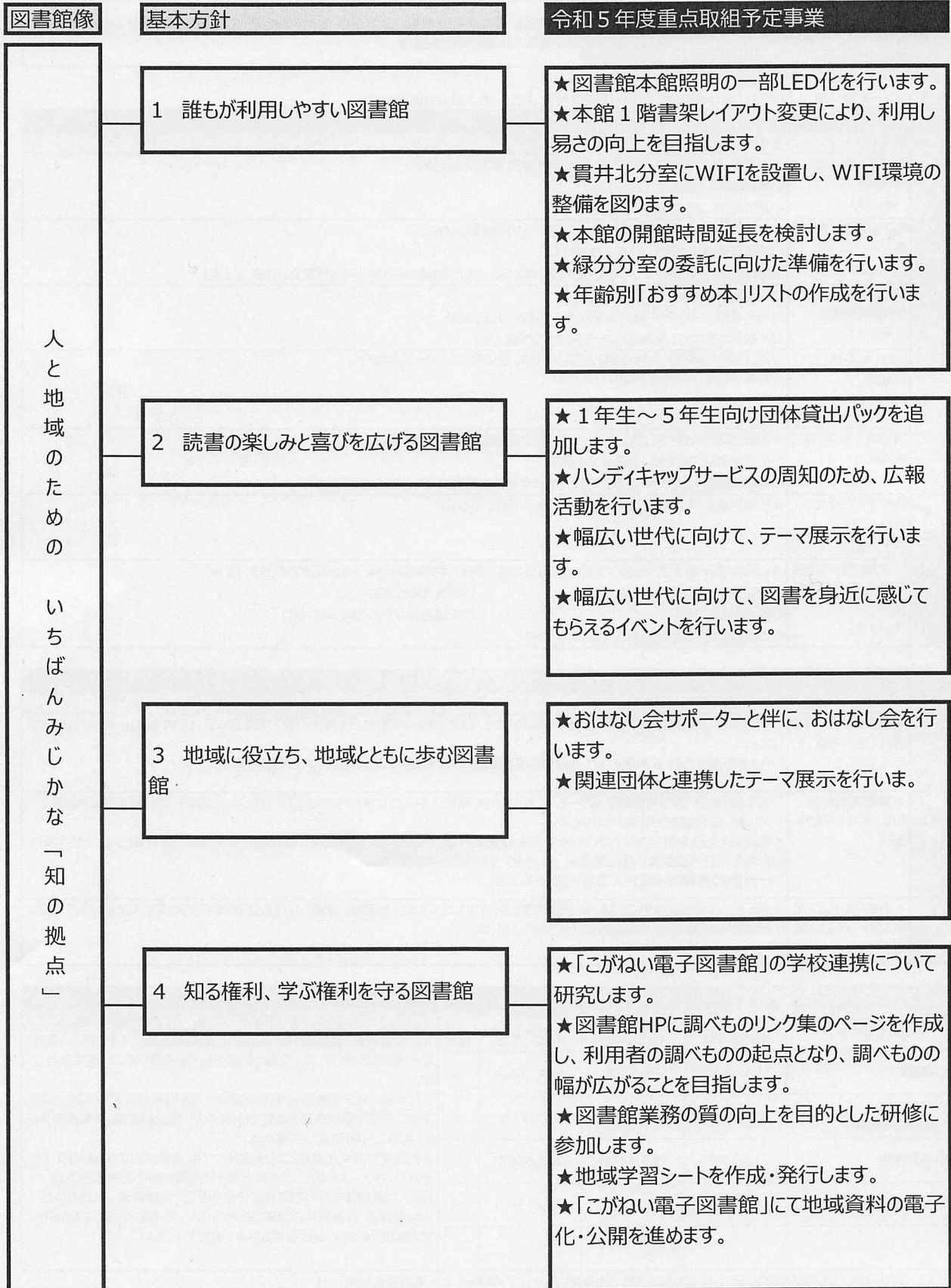
施策の成果		
施策	施策の目指す状態	施策の成果（事業の結果の分析）
4-1	◆図書館が提供する資料に魅力を感じる市民が増える	○新型コロナウイルス感染症に係る行動制限緩和もあり、図書館利用の減少から貸出点数、貸出回転率、レファレンスサービス件数が減少している。 ○「図書館基本方針」に内包されていた選書基準を独立させた。今後は改正の有無について研究を進める。
4-2	◆図書館で調べる、知る、学ぶ市民が増える	○国会図書館デジタル化資料送信サービスの案内により、現物入手不能な資料等のリクエストに応じることが出来たが、個人登録が可能となったため、図書館での利用者は減少した。 ★図書館スタッフの専門性向上のため、昨年に引き続き関係課（生涯学習課、総務課）に依頼し内部研修の場を設けた。また、今年度は会計年度任用職員及び委託館職員（希望者）にも研修の場を設けた。 ○一般書の分類表示を増やし、資料が探しやすくなった。
4-3	◆小金井の文化・歴史に対する市民の関心が高まる	★電子化した地域資料を「こがねい電子図書館」に掲載することによって、図書館に来館しなくても当該資料にアクセスすることが出来るようになり、市民が地域資料に容易に触れることが出来るようになった。

基本方針に対する成果				
基本方針4の参考指標	一次評価（基本方針4に対する自己評価・次年度以降の改善事項）			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	傾向
○蔵書数	503,493点	505,435点	504,166点	↘
○蔵書回転率 (貸出点数÷蔵書数)	157.41%	196.47%	185.17%	→
○予約件数	218,949件	260,136件	243,659件	→
○レファレンスサービス件数	4,553件	8,218件	6,813件	→
				★「こがねい電子図書館」の利用案内を外国語を母語とする方に、英語版・中国語版と作成した。今後は配布方法を図書館設置以外にも検討したい。 ○「こがねい電子図書館」の利用促進の一環で総合学院テクスカレッジの学生に電子図書館専用の番号を付与したが、今後も地域の学校等を中心に、利用ニーズを研究していきたい。 ★生涯学習課文化財係とは、小金井の文化・歴史に対する資料作り（小金井わくわくたんていだん、こがねい電子図書館内の小金井市関連資料）と職員研修で協力を受けた。今後も相互で情報発信していきたい。 ○地域資料・行政資料の収集を進めているが、電子化には至っておらず保管の課題がある。外部保管等も含めて研究を行いたい。

凡例 参考指標の当該年度を前年、前々年の数値と比較し、上昇傾向「↑」、下降傾向「↓」、現状維持傾向「→」

二次評価（図書館協議会によるコメント）	総評
	(B)

次年度重点取組予定事業



【参考資料】 令和5年度 東京都公立図書館調査結果より抜粋(数字は令和4年度実績)

自治体名	人口	蔵書数図書総数(冊)		個人貸出登録者登録者総数(人)		個人貸出登録者有効登録者数(人)内訳うち自治体内有効登録者		個人貸出貸出冊数貸出総数(冊)		個人貸出貸出冊数貸出総数(冊)内訳うち自治体内貸出数		予約受付総数(冊)	
		市民一人当たり(冊)	市民割合	市民一人当たり(冊)	市民割合	市民一人当たり(冊)	市民割合	市民一人当たり(冊)	市民一人当たり(冊)				
小金井市立	561,034	1,669,700	2.98	115,415	48,579	8.66%	2,250,046	2,153,205	3.84	765,715	1.36		
立川市	185,552	923,917	4.98	57,373	不明	-	1,439,916	不明	-	402,499	2.17		
武蔵野市	148,196	974,920	6.58	200,662	37,524	25.32%	2,248,167	不明	-	638,489	4.31		
三鷹市	190,173	814,791	4.28	94,806	36,960	19.43%	45,184	1,676,357	8.81	412,679	2.17		
青梅市	129,918	627,280	4.83	46,338	不明	-	755,123	不明	-	31,267	0.24		
府中市	259,572	1,563,784	6.02	133,180	不明	-	1,580,517	不明	-	620,225	2.39		
昭島市	114,279	492,941	4.31	43,256	不明	-	741,014	689,918	6.04	156,541	1.37		
調布市	238,952	1,352,583	5.66	9,183	63,320	26.50%	2,310,729	不明	-	666,813	2.79		
町田市	431,018	1,186,838	2.75	473,586	73,014	16.94%	3,147,069	2,844,402	6.60	687,902	1.60		
小金井市	124,713	504,144	4.04	38,035	18,780	15.06%	941,382	863,116	6.92	243,659	1.95		
小平市	196,543	1,219,969	6.21	153,977	30,165	15.35%	1,392,544	1,292,369	6.58	360,260	1.83		
日野市	187,180	835,120	4.46	30,830	27,742	14.82%	1,465,388	不明	-	534,677	2.86		
東村山市	151,596	727,532	4.80	未取得	21,419	14.13%	1,042,697	945,505	6.24	256,965	1.70		
国分寺市	128,691	595,167	4.62	44,993	17,695	13.75%	831,762	793,088	6.16	213,612	1.66		
国立市	76,182	355,753	4.67	24,129	11,210	14.71%	421,458	393,212	5.16	90,953	1.19		
福生市	56,055	464,912	8.29	7,272	4,682	8.35%	379,229	不明	-	49,238	0.88		
狛江市	82,723	304,259	3.68	23,450	11,466	13.86%	491,917	448,632	5.42	139,618	1.69		
東大和市	84,920	467,170	5.50	31,141	不明	-	566,236	不明	-	102,985	1.21		
清瀬市	74,590	405,023	5.43	95,786	9,867	13.23%	497,539	371,975	4.99	152,473	2.04		
東久留米市	116,760	495,906	4.25	18,271	13,991	11.98%	768,297	不明	-	194,329	1.66		
武蔵村山市	71,236	323,489	4.54	42,490	12,273	17.23%	263,824	239,580	3.36	60,202	0.85		
多摩市	148,107	777,999	5.25	42,183	24,453	16.51%	1,463,830	1,317,961	8.90	472,217	3.19		
稲城市	93,486	678,155	7.25	32,220	21,990	23.52%	1,088,521	749,653	8.02	247,666	2.65		
羽村市	54,386	415,184	7.63	20,208	5,562	10.23%	262,042	216,617	3.98	25,519	0.47		
あきる野市	79,648	640,738	8.04	16,017	13,171	16.54%	547,375	444,053	5.58	99,568	1.25		
西東京市	205,943	781,210	3.79	95,979	30,735	14.92%	1,965,069	1,620,932	7.87	750,317	3.64		

★「個人貸出登録者数」年間の累計登録者数ではなく、評価対象年度末日現在の登録者数。なお、視聴覚資料の登録者は含むが、障害者サービスの登録者及び電子書籍サービスのみの登録者は含まない。

★「個人貸出登録者有効登録者数」調査対象年度内に図書館を利用した登録者数。